東京都低ＮＯｘ・低CO_2小規模燃焼機器認定委員会（令和８年度第１回）議事録

１　日時　　令和８年７月８日　　午前１０時００分から午前１１時００分まで

２　場所　　ＷＥＢによるオンライン会議

３　出席者

（委　員）津江委員長、上道委員、小林委員、納富委員、松村委員

（東京都）名取課長、長井課長代理、池上主事

４　議題

（１）低ＮＯｘ・低CO_2小規模燃焼機器認定申請の状況

（２）低ＮＯｘ・低CO_2小規模燃焼機器の認定審査

（３）その他

５　議事

○長井課長代理　それでは、定刻になりましたので、ただいまから令和８年度第１回東京都低ＮＯｘ・低CO_2小規模燃焼機器認定委員会を始めさせていただきます。

会議の進行について、委員長に引き継ぐまでの間、進行を務めます、事務局の東京都環境局環境改善部大気保全課大気担当の長井です。よろしくお願いします。

本日は、委員の皆様全員にご出席いただいております。

議事に入る前に、本日の会議についてご説明いたします。

この会議は、低ＮＯｘ・低CO_2小規模燃焼機器認定委員会の組織及び運営に関する要領第７の規定に基づき、公開いたします。ただし、議事（２）の低ＮＯｘ・低CO_2小規模燃焼機器の認定審査については、東京都情報公開条例第７条第３号に係る案件となりますので、非公開といたします。

本日、傍聴の方はいらっしゃいません。

また、同要領第８の規定に基づき、議事録を作成し、東京都情報公開条例第７条各号に掲げる非開示情報に該当する部分を除いて、原則として公開しますので、ご承知ください。

開会に当たりまして、東京都環境局環境改善部大気保全課長の名取より一言ご挨拶させていただきます。

○名取課長　委員の皆様、本日もお忙しいところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

今年度の第１回の定例会となります。今回は、蒸気ボイラー２件、温水発生機２件、冷温水発生機１件の計５件の認定申請をいただいております。

この会、年４回開催しておりますけれども、毎回このように申請を受けておりまして、毎回、会を重ねるごとに認定機器を積み上げていっているというところです。

一方で、制度を長く運用していく中で、課題も発生しております。これらの課題につきましては、委員の皆様、それから関係の方々にご意見を伺いながら丁寧に対応していきたいというふうに思っております。

本日の申請案件につきましても、活発なご議論をお願いできればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○長井課長代理　続いて、ウェブ会議の注意事項を３点申し上げます。

１つ目として、一部の資料は、情報セキュリティー対策のため、画面には映写いたしません。別途郵送しておりますので、そちらをご確認ください。

２つ目は、会議中は音声をミュートにしていただき、ご発言の際はミュートを解除してご発言ください。

３つ目として、会議中に音声が聞きづらいなど不具合がありましたら、随時、事務局までお知らせください。

それでは、これ以後の進行は津江委員長にお渡しします。委員長、よろしくお願いします。

○津江委員長　皆様、おはようございます。お集まりいただきまして、ありがとうございます。

それでは、早速、議事に入らせていただきます。

議事（１）の低ＮＯｘ・低CO_2小規模燃焼機器の認定申請の状況について、事務局のほうからご説明をお願いいたします。

○池上主事　それでは、資料１について、私のほうからご説明させていただきます。

こちらは画面のほうにも共有させていただきますので、少々お待ちください。

お待たせいたしました。

東京都低ＮＯｘ・低CO_2小規模燃焼機器認定申請の状況ということで、まず、１ページ目ですけれども、こちら、申請があった機器の代表型式数になります。

今回は小型ボイラー類から合計５代表型式の申請をいただいております。

内訳としましては、蒸気ボイラーで２機種、温水発生機で２機種、冷温水発生機で１機種となっておりまして、いずれも都市ガス燃料の機種となっております。

グレードに関しては、いずれも全てグレードＡＡに該当するものとして申請をいただいております。

続いて、２ページ目の窒素酸化物削減方式についてでございます。

主なＮＯｘ低減対策について示しておりまして、まず、蒸気ボイラー２機種については、いずれも火炎分割が主な対策となっております。

温水発生機２機種については、完全予混合と希薄燃焼によってＮＯｘ低減を図るものでございます。

最後、冷温水発生機１機種については、自己再循環に加えて火炎分割によってＮＯｘ低減が図られるものとなっております。

続きまして、３ページ目です。

CO_2低減方式についてでございます。

主な効率向上対策ですが、蒸気ボイラー２機種では、主にエコノマイザーの採用によって効率を向上させております。

温水発生機については、ボイラー缶体の伝熱効率の向上が主な対策となっております。

最後、冷温水発生機では、伝熱効率の向上に加えて、冷凍サイクルの最適化というところが主な効率向上の対策となっております。

以上、今回申請のあった５機種の申請概要となります。

○津江委員長　どうもありがとうございました。

何かこの件でご質問、ご意見等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

次の議事に移りたいと思いますが、議事（２）の低ＮＯｘ・低CO_2小規模燃焼機器の認定審査については、非公開とさせていただきたいと思います。

（この間、認定審査のため、非公開）

○津江委員長　それでは、本日の議事は以上となります。

事務局のほうに議事進行をお返しいたします。

○長井課長代理　ありがとうございました。

事務局から連絡事項を池上よりご説明します。

○池上主事　連絡事項についてご説明します。

郵送した口座振替依頼書と電子データの入ったＣＤ－Ｒについては、事務局宛てにご返送をお願いいたします。返送時は、同封したレターパックをご使用いただければと思います。

連絡事項に関しては以上となります。

○長井課長代理　次回の認定委員会の開催日程につきましては、日程調整等、別途ご連絡させていただきます。

これをもちまして、令和８年度第１回認定委員会を終了させていただきます。

お忙しい中ご出席いただきまして、どうもありがとうございました。